

創業する人 強力サポート

融資制度や セミナーを活用しよう



技能を生かしピアノ教室を開業

「独立して店を開きたい」こんな熱意を持っている人、多いと思います。しかし実際に開業することは事業計画や資金調達などクリアしなければならぬハードルも多く簡単ではありません。皆さんは市が融資制度や創業支援などで支援していること、知っていますか。今回はこの窓口になっている商工振興課で話を聞きました。(担当は市民編集委員・古田島、大沢)

問い合わせは商工振興課 ☎890-6612へ。

金利1%で
10年間固定

市の融資制度と聞くと市民にはなじみが薄く感じられます。でも、起業家独立開業支援資金は、新産業や

起業家独立開業支援資金	
融資限度額	5,000万円
融資期間	10年以内(1年以内の据え置き期間を含む)
融資利率	1%以内(県保証協会の保証料は別途負担)
担保・保証人	金融機関と調整
償還方法	元金均等で月賦償還

起業家の発掘を図るために市と金融機関が協調して設けたもの。新たに独立開業しようとする場合の運転資金や設備資金を長期、低利で借りることができるそうです。(上表のとおり)

金利が上昇する傾向の中、長期低金利は魅力ですね。また、最初の1年目は利益も上がらず返済も大変。1年間返済開始を待ってもらえる制度は、創業者にとってはありがたいのではないのでしょうか。昨年は47人、一昨年は55人がこの制度を利用していているそうです。

■注意する点、聞いてみました
主な注意点は次のとおりです。
①本市在住の人でも、市外に店を開く場合はこの制度を利用できない。



経験を生かしデジタルデザインスタジオを開業

②サラリーマンなどが給与所得がある人や主婦などが対象で、自営業者だった人や会社の取締役だった人などは利用できない。
③一部対象外業種がある。
④返済能力などは金融機関も審査するが、これとは別に信用保証協会という審査機関の保証が必要な場合がある。
⑤開業に必要な資格などは早めに取りしておく。
でも、具体的な計画ができたなら、早めに商工振興課に相談することが大切だと思いました。

夢の実現へ
創業支援塾

この融資をスムーズに受けるためには、開業の動機や目的、事業内容やどんな設備にどれくらい資金が掛かるかなどの資金計画などがしっかりしていることが大切とのこと。

商工振興課では、毎年、創業支援塾を開催し、無料で創業する人を応援しています。創業する時に必要な知識、事業計画の立て方や経営技術などが気軽に勉強できるそうです。

実際に創業した人の体験談や、中小企業診断士などの個別相談会を通して起業家の精神や感覚を体得できる試みも行っているそうです。

8月26日(日)から5回開催。参加者同士で励まし合ったり、仲間作りをしたりすることもできます。7割以上出席した人は、修了証がもらえます。市ではもっと

創業支援塾	
期日	8月26日(日)~9月15日(土)の5回
会場	総合福祉会館(日吉町二丁目)
対象	創業しようとする人・創業5年以内の人、先着30人
申し込み	商工振興課 ☎890-6612へ

学生や主婦など多くの人に参加してもらいたいと考えているそうです。また、起業を志す女性を対象とした「女性起業家セミナー」も計画しているそうです。

創業の精神
若い世代も

創業の精神を若い世代にも広げたい。こんな願いから小学生とその保護者を対象に「夏休み親子の工場見学」小5から中2までを対象に「子ども起業塾」を行っています。

創業の「子ども起業塾」では、会



昨年の子ども起業塾

社づくりについて学んだ後、弁天ワッセで実演販売を行ったそうです。最初は接客に慣れなかった子どもたちも、時間がたつうちに笑顔で接客。学校では体験できないこんな機会を、大切にしてもらいたいですね。今年10月28日(日)と11月3日(土)を行う予定だそうです。多くの子どもたちに参加してもらえればと思います。

最近の子どもは「大人になつたらやりたい職業は」と聞くとサラリーマンと答える子どもも多いとか。若い世代に、もっと創業の興味を持ってもらいたいというこんな取り組み、楽しいと感じました。

中で、そんな人たちを応援したいという市の積極的な姿勢を感じました。また、わたしたちもこの生まれ育った愛着のある前橋で、創業の志を持つ人が一人でも多く生まれ、大きく育ってほしいと思いました。

編集後記

創業する人が増え、店や事業所が増えることは、雇用の面でも効果が期待でき、まちの活性化にもつながるでしょう。取材の